

第6次高浜市総合計画推進会議②

市民と情報を共有しながら、よりよい行政サービスにつなげていくために

市では、「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をまちづくりのキャッチフレーズに掲げ、「こんなまちにしていこう！」というまちづくりの目標や、その実現に向けて必要な取組内容を盛り込んだ「第6次総合計画」に基づいて、市政運営を進めています。

現在は、平成26～29年度を計画期間とする「中期基本計画」を推進中。計画を実効性あるものとしていくためには、目標の達成状況の点検・確認（評価）や、事業の見直し・改善が欠かせません。

第2回総合計画推進会議（5月12日開催）では、市民とともに点検・確認（評価）などを行うため、点検・確認（評価）のねらいや実施方法、着眼点などについて協議しました。その概要を紹介します。

（着眼点の詳細については、7月15日号で紹介します。）



▲第2回のように（関係部署の職員も出席）

■点検・確認（評価）のねらい

よりよい行政サービスにつなげる

- ◆会議や市民意識調査、日ごろの業務を通じてなど、多様な方法で市民の声を聴く。
- ◆行政が行っている事業が市民の役に立っているかどうかを、さまざまな観点から点検・確認する。
- ◆点検・確認結果を事業の見直し・改善に反映させ、よりよい行政サービスにつなげる。



市民との情報共有・説明責任

- ◆目標の推進状況、点検・確認結果などを市民にわかりやすく公表・情報共有することにより、市政の透明性を高め、説明責任を果たす。
- ◆市民と行政が市政運営やまちづくりの課題などについて共通認識を持ち、解決策についてともに考え、めざす姿の実現に向けて共に行動する。

■点検・確認（評価）の実施方法

評価（点検・確認）の対象	中期基本計画に掲げる11目標
評価（点検・確認）を行う主体	【第1段階】行政内部による評価 【第2段階】第6次高浜市総合計画推進会議による評価
評価（点検・確認）の着眼点	市民は暮らしやすくなったのか、満足度は高まったのかといった大局的な観点で、目標の達成状況を点検・確認（評価）する。 〔第6次高浜市総合計画推進会議の役割〕 ①行政がとりまとめた「施策評価（内部評価）」の内容を点検・確認する。 ②点検・確認内容を踏まえ、目標の達成に向けて改善すべき課題、今後の取組みにつながるアイデアなどの意見を述べる。
評価（点検・確認）結果の活用・反映	第6次総合計画推進会議において点検・確認（評価）結果をとりまとめ、市長へ提出する。 〔活用・反映方法〕 ◆点検・確認（評価）結果のうち、すぐ実行に移せるものについては、平成27年度に実行中の事業に反映し、実行していく。 ◆予算措置などが必要で、すぐに実行できないものは、平成28年度アクションプラン策定の際の検討材料として活用する。



- ◆総合計画推進会議は傍聴可能です。
- ◆総合計画や総合計画推進会議の詳しい内容は、市公式ホームページのトップページのバナー「第6次高浜市総合計画」をクリック！